

衆議院安全保障委員会ニュース

平成 24.4.17 第 180 回国会第 3 号

4 月 17 日（火）第 3 回の委員会が開かれました。

1 国の安全保障に関する件（北朝鮮による「人工衛星」と称するミサイル発射について）

- ・北朝鮮による「人工衛星」と称するミサイル発射について、田中防衛大臣及び玄葉外務大臣より報告を聴取しました。
- ・玄葉外務大臣、田中防衛大臣、齋藤内閣官房副長官、渡辺防衛副大臣、下条防衛大臣政務官、神風防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

神 山 洋 介君（民主）

- ・今回の北朝鮮によるミサイル発射事案において、全国瞬時警報システム（J—A L E R T）が使われなかったのは、我が国にミサイル発射による直接の影響・危険がないと判断したからと理解していいのか、齋藤内閣官房副長官に伺いたい。
- ・北朝鮮によるミサイル発射が我が国の安全に与える影響についての情報は、自治体や住民にとって重要であり、その伝達をより迅速に行うために、政府の検証チームで緊急情報ネットワークシステム（E m - N e t）の運用方法について検証すべきと考えるが、同チームの長である齋藤内閣官房副長官の考えを伺いたい。
- ・防衛計画の大綱及び中期防衛力整備計画の流れも踏まえた上で、今後戦略空間としての宇宙空間に対してどのような対応をとっていくのか、防衛省に伺いたい。

福 嶋 健一郎君（民主）

- ・防衛省が北朝鮮からのミサイルについて認知した方法及び時間、その後首相官邸に情報を伝達した方法及び時間、その間に防衛省がとった対応について防衛省に伺いたい。
- ・北朝鮮が発射したミサイルを、米国の早期警戒情報以外の情報によってダブルチェックが出来なかった場合に、どのような情報伝達を行う想定がされていたのか、防衛省に伺いたい。
- ・何らかの飛翔体が発射された場合でも、状況によっては、J—A L E R Tによる情報伝達が行わないという判断基準、また、J—A L E R Tで情報伝達をしない場合もあることについて、政府は地元等に周知していたのか、内閣官房に伺いたい。

浅 野 貴 博君（大地）

- ・今回の北朝鮮によるミサイル発射を視察するため、イランの代表団が訪朝していたという報道について、当該事

実関係を把握しているか、玄葉外務大臣に伺いたい。

- ・北朝鮮とイランが提携することは、世界にとって更なる不安定要因となると考えられるが、今後両国が世界の不安定要因とならないようにするため、我が国は具体的にどのような外交努力を行っていくつもりなのか、玄葉外務大臣に伺いたい。
- ・ミサイル発射や核実験などの暴挙により、日朝平壤宣言の有効性は既に失われており、北朝鮮に対しては、日朝平壤宣言を破棄するという強い態度で臨むべきだと考えるが、玄葉外務大臣の見解を伺いたい。

岩 屋 毅君（自民）

- ・北朝鮮のミサイルが発射されたとの早期警戒情報を得ながら、防衛大臣による発表が 43 分後となった理由について、田中防衛大臣に伺いたい。また、情報伝達は時間をかけて正確性を期すよりも迅速性が重要であり、米国からの発射情報に基づき、関係各所や国民に情報を伝達すべきであったと考えるが、併せて見解を伺いたい。
- ・宮古島では早期警戒情報の入手後、直ちに自衛隊が信号弾を発射しているが、信号弾が発射されることやその意味について、あらかじめ地方自治体及び地域住民に周知していたのか、田中防衛大臣に伺いたい。また、まず国民に第一報を伝えるべきであると考えているが、併せて見解を伺いたい。
- ・北朝鮮のミサイル発射に対し、安全保障理事会の対応が決議ではなく議長声明の発出にとどまったことについて、我が国の外交努力は十分であったと認識しているのか、玄葉外務大臣に伺いたい。

今 津 寛君（自民）

- ・我が国の核攻撃に対する抑止力は、米国の「核の傘」に依存しているのが現状であるが、そうした状況下において非核三原則、特に「持ち込ませず」は非現実的であると考えているが、田中防衛大臣の見解を伺いたい。

- ・米韓両国が北朝鮮のミサイル破片の回収を行っていることについて、日米韓の係に鑑みれば、我が国も協力すべきであると考えが、田中防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・集団的自衛権の行使を可能とする安全保障基本法の制定について、玄葉外務大臣の見解を伺いたい。

東 順 治君（公明）

- ・国連安全保障理事会は、北朝鮮のミサイル発射を非難する議長声明を採択したが、同声明で北朝鮮による更なる発射又は核実験の場合に安保理がこれに応じてとられた行動とは、具体的にはどのようなものであると、玄葉外務大臣は認識しているのか。
- ・北朝鮮のミサイル発射に対する国連安保理議長声明の趣旨を具体化するために、北朝鮮を除く六者協議のメンバーによる会合を我が国のリーダーシップで開催すべきと考えるが、玄葉外務大臣の見解を伺いたい。
- ・アフガニスタンにおいて、旧支配勢力タリバンによる同時襲撃より、在アフガニスタン日本大使館に計４発のロケット弾が着弾する事案が発生したが、アフガニスタンにおける邦人の保護・救出について、玄葉外務大臣の見解を伺いたい。

赤 嶺 政 賢君（共産）

- ・北朝鮮が発表したミサイルの軌道上に位置する多良間島ではなく、軌道から離れた宮古島や石垣島にＰＡＣ－３や自衛官を配備した理由について、田中防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・渡辺防衛副大臣が４月に沖縄県の部隊を視察した際に、ＰＡＣ－３の命中率を８割以上とした根拠について、同副大臣に伺いたい。
- ・宮古島において、早期警戒情報を受けた航空自衛隊基地

は、ＰＡＣ－３による迎撃態勢をとるため信号弾を発射したが、信号弾を発射する場合があることについて、地元住民に対し説明を行っていたか、田中防衛大臣に伺いたい。

照 屋 寛 徳君（社民）

- ・米海兵隊のオスプレイがモロッコでの演習中に墜落し、死傷者４名を出したことを受け、普天間飛行場へのオスプレイの配備計画を中止若しくは撤回するよう米国へ申し入れるべきではないのか、田中防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・柳澤協二元内閣官房副長官補（安全保障・危機管理担当）が、北朝鮮のミサイル発射に対してＰＡＣ－３を沖縄に配備する軍事的な意味はないと発言したことについて、田中防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・下地国民新党幹事長が日米地位協定の抜本的改定に向けた協議機関の設置を提起したが、日米間に日米合同委員会の枠組以外に新たな協議機関を作る必要性について、玄葉外務大臣の見解を伺いたい。

渡 辺 義 彦君（きづな）

- ・中国航空機が護衛艦「あさゆき」に接近し、２周ほど周回する挑発行為を取ったことに対して、我が国はどのように対処したのか、防衛省に伺いたい。また、本件について、中国外務省の報道局参事官が、中国航空機は国際的な規則を守って飛行しており、正常な飛行活動だったと反論したことに対して、外務省はどのように対処したのか伺いたい。
- ・米国・英国のシンクタンクや中国紙が、中国が南シナ海及び我が国近海において軍事衝突を起こす可能性を示唆していることに対して、防衛省の見解を伺いたい。